

日本マクロエンジニアリング学会第1回能登視察旅行 2013.3  
(RIMEP & プロジェクト研究会合同企画)

●主旨

・世界農業遺産に指定された能登の地域振興策について七尾市役所のご好意により紹介していただきました。世界農業遺産については下記 url をご参照ください。

<http://www.pref.ishikawa.jp/satoyama/noto-giahs/>

- ・どのような農林水産物が市場に出廻っているのか「わかばの里」にて概観し確認。
- ・世界農業遺産に指定された理由のひとつに伝統工芸があり、その代表例として建具センターを視察。
- ・七尾市の主要な産業である「和倉温泉」観光業についての視察。
- ・石川県在住の木村理事(編集委員長、経済工学研究会)も参加。

●補足

- ・もうひとつの主要な産業である医療の施設については今回は見送り、次回に農作業や森林の視察とスケジュールを調整して視察する予定。
- ・七尾湾には浚渫の要らない天然の良港がありユーラシア回廊の検討対象となり得ます。

●参加者(敬称略)

3月3日(日)

能登空港から 角田、亀田、黒沢、吉田(4名)

食祭市場から 谷本 (5名)

宿から 藤田 (6名)

3月4日(月)

わかばの里から 木村、吉野 (8名)



●日程

○3月3日(日)

11:10 能登空港着陸 ターミナル3階の食堂で昼食。「季節のうどん」に入っていた牡蠣天ぷら二個が特大

11:45 能登空港発 マリン交通丸一タクシーに4名乗車の後、田が多く畑が少ない能登島経由で、地質的には佐渡島まで繋がっている能登島中央部の地溝帯の湿地の田、神社の狛犬、対岸の能登半島や大田火力発電所を眺め途中停車しながら移動して民宿日の出荘あたりから対岸の三室国家LPG備蓄基地を全貌。天気は変わり易く、タクシー運転手によると「積雪量は近年減少」。

13:15 谷本先生と合流、待ち合わせ@能登食祭市場  
13:30～15:30 七尾南湾(喫水 13m の大型船が接岸可能、七尾海陸運送株式会社

<http://www.nanaokairiku.co.jp/>、輸入が圧倒的に輸出よりも多い。主にオーストラリアから大田火力発電所の燃料にする石炭を輸入。主にセメントに混ぜる用途の廃棄物を韓国に輸出)にて、林ベニヤ産業 <http://www.hayashi-hys.co.jp/> の七尾工場(最近まで木材はロシア産だったが、今は北米産)及び三室国家 LPG(液化石油ガスを中東から輸入)備蓄基地(ENEOS 系)を視察。

和倉温泉のイソライト工業

<http://www.isolite.co.jp/> の珪藻土切り出し現場を視察。タクシー運転手によると「昔盛んだった珪藻土産業やセメント産業は現在衰退している」

15:30～17:00 街中観光業視察

一本杉通りにて

高澤ろうそく

<http://www.takazawa.jp/index.html>

ぬのや仏壇店 <http://www.e-nunoya.co.jp/>

主がタクシー運転手の同級生のぬのや仏壇店二階の工房を見学。「昔は住込で一人前になるには三年しかかからなかったが、今は通勤で一人前になるには十年かかる。七尾市には仏壇作りに必要な各種職人が集積している。最も若い金箔職人は40代の女性」

しら井七尾店

<http://www5.ocn.ne.jp/~shirai52/nanao.html>

鳥居醤油 <http://po5.nsk.ne.jp/~shouyutorii/>

きもの処凧屋 <http://www.kd-rinya.com/>

和倉温泉付近観光関連施設視察(城跡、輪島等の出身校・出身地、辻口博啓美術館

[http://www.kagaya.co.jp/le\\_musee\\_de\\_h/contents/wakuraConcept.html](http://www.kagaya.co.jp/le_musee_de_h/contents/wakuraConcept.html))

17:00 ホテル海望チェックイン、藤田先生と合流

17:20 木村先生海望に到着

19:00 海望の食堂にて豪華な夕食 主に旬の海産物

○3月4日(月)

JA能登わかば <http://ja-notowakaba.jp/info/index.html> 本店会議室にて

9:00～9:30 吉野先生と合流、



わかばの里直売場視察(「棚田」というブランド米を購入)

9:30～11:30 意見交換会

- ・ 代替わりのタイミングで耕作放棄されることが多い。
- ・ 里山管理の改善に際して不在地権者の手続きが難しい。
- ・ 環境林、いしかわ森林環境税
- ・ 松茸再生プロジェクト
- ・ トレーサビリティと商品説明情報の付加により他地域の類似商品との差別化を推進。観光を販売拡大の機会として活用。
- ・ 経済的に余裕のある優良顧客獲得や海外輸出についてマクロエンジニアリング学会側から提案。

11:30～12:30 昼食

※わかばの里で見た食材(「棚田米」、中島菜、他)を使った弁当 1500 円

13:00～13:30 工場見学:組子体験、YKK と提携のある建具屋もあり

13:30～14:30 田鶴浜建具意見交換(リーマンショック前には50以上あった建具屋が倒産で今や20ない。組子と塗が田鶴浜建具のセールスポイント。コンピュータ制御による正確迅速な杉材加工。主に秋田杉を材料として採用。若い職人もいる。)

<http://show-g.jp/>

14:55 田鶴浜JA前バス停より中島タクシー「ふるさとタクシー」にて七尾出発

16:40 能登空港発